

# 地域の特性を活かし食を通じた 地域と企業のつながりと たすけあいの場づくり

九州・沖縄地域共生社会推進フォーラム  
令和7年12月12日



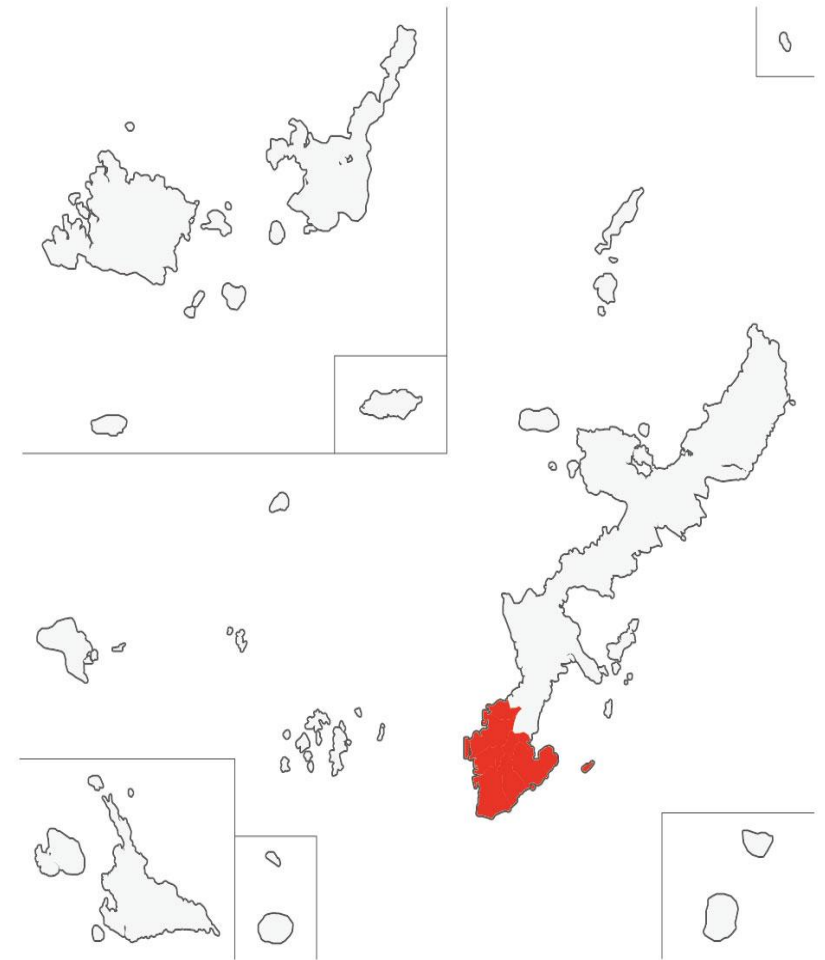
社会福祉法人 糸満市社会福祉協議会  
地域福祉コーディネーター 当山 涼香

# 目 次

- 沖縄県糸満市について
- 糸満市社会福祉協議会について
- 取り組みの目的・背景
- 主な取り組み内容
- 取り組みの成果
- 今後の展望
- まとめ

# 沖縄県糸満市について

- 所在地: 沖縄本島南部、  
那覇市の南に位置
- 人口: 62,130人  
(令和7年10月時点)
- 行政区: 47ヶ所
- 自治会加入率: 44%
- 高齢化率: 23.9%  
(令和7年10月時点)
- 主な産業:  
農業(水稻・野菜・果樹)、  
水産業、観光など



# 糸満市社会福祉協議会について

- 名 称:社会福祉法人 糸満市社会福祉協議会
- 設 立:昭和47年(1972年)5月設立認可
- 所 在 地:沖縄県糸満市真栄里857  
(糸満市社会福祉センター内)

- 職員体制:43名
  - 正規職員7名
  - 嘱託・臨時・非常勤職員36名

- 使 命:  
地域福祉を推進する中核的な団体として、  
地域住民及び福祉組織・関係者の協働により、  
地域生活課題の解決に取り組み、  
誰もが支え合いながら暮らすことができる  
「つながりを深め 誰もが安心できるまち 糸満市」  
を実現すること



糸満市社協イメージキャラクター  
いちまにゃー

## ■ 主な役割:

### (1)法人運営(連絡調整事業)

- ・市内社会福祉法人等施設団体との連絡会の開催

### (2)相談支援事業(市・県社協委託事業、法人事業)

- ・生活困窮者自立支援事業    ・生活福祉資金貸付事業
- ・日常生活自立支援事業      ・成年後見制度利用の促進

### (3)地域福祉事業(市委託事業、共同募金配分金事業)

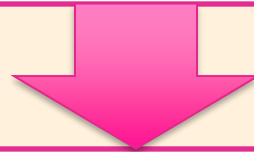
- ・ボランティア活動及び福祉教育の推進
- ・地域福祉コーディネーター配置事業
- ・高齢者福祉関連事業(地域デイサービス)
- ・児童福祉関連事業  
(居場所ネットワーク事業、認可外保育施設等活動支援)
- ・福祉団体の活動支援(事務局)

# 取り組みの背景と課題

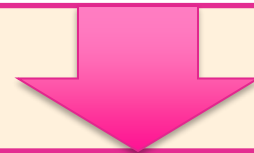
- 新型コロナウイルスの影響で休業・収入減の世帯や、生活困窮世帯が増加
- 人のつながりの希薄化、孤立・孤独の深刻化
- 子どもの食事機会や高齢者の外出機会の減少など地域課題が顕在化

# 事業の目的

1	孤立を防ぎ、参加できる地域の仕組みづくり
---	----------------------



2	食の支援を通じた人と地域、企業をつなぐ 循環型支援の構築
---	---------------------------------



3	誰もが支え合える地域共生社会の実現を 目指す！
---	----------------------------



# 具体的な取組内容①(食支援)

糸満市内社会福祉法人

地域における公益的な取り組みの一環として

## フードドライブを実施します

厳しい社会情勢のなか、食料品等を必要としている世帯が増えていますが  
ご家庭よりみなさんのおもいやりをおすそわけしていただけませんか？

みなさんのご協力よろしくお願いします

### 集めている食料品等

① 賞味期限が2024年12月1日以降のもの

② 未開封で常温保存が可能なもの

※生鮮食品については保存管理が難しいためお断りさせていただいています

① お米



② 缶づめ



③ 乾麺



④ 調味料類



⑤ 菓子類



⑥ インスタント食品



⑦ お米券や商品券



⑧ 粉ミルクや紙オムツ



⑨ 日用品



●提供していただいた食料品等については「糸満市社会福祉協議会」で取りまとめ  
必要としている世帯等へ届けます

**実施期間：令和6年8月19日(月)～9月6日(金)**

★お問い合わせ先★

糸満市内社会福祉法人連絡会事務局

糸満市社会福祉協議会 地域福祉係

**TEL:994-0563**

- **フードドライブ**の定期実施
- 企業・農家・漁業関係者・自治会・個人からの寄贈食品の活用
- 飲食店と協力した温かい食事提供(弁当配布、食材提供、食品セットの配布)





**多くの食品をご寄贈いただきました！**



## 具体的な取組内容② (居場所づくり)

- こどもの居場所へ食材の提供
- 学習支援および交流活動の実施
- 農業収穫体験、釣り体験、見学ツアーなど体験型プログラムの実施



農業体験



漁協との合同イベント



自治会×放課後等  
デイサービス交流会

# 具体的な取組内容③(個別・団体支援)

- 生活困窮世帯、高齢者、障がい者、ひとり親家庭へ支援
- 福祉団体・自治会と連携した見守り・相談体制の強化
- 地域交流ウォーキング、防災啓発イベントの実施



食品製造業者×自治会



老人クラブとの連携  
(友愛訪問)



企業協力による  
調理実習



津波避難箇所探索  
ウォークリー





# 具体的な取組内容④(その他)

- ・ 寄付型自動販売機の設置による継続的な寄付の仕組みづくり

いちまん社協だより  
社会福祉法人 糸満市社会福祉協議会  
<http://www.itoman-shakyo.org>

第133号  
発行日  
令和3年10月5日

設置協力事業者募集中!

子ども達の夢や希望につなげていきたい!

株式会社いちまん会  
上原 亮 代表

みんな大変な時期だから笑顔と元気を届けたいです。  
コロナ禍で様々な活動が制限されていますが、それでも食わずに頑張る子供たちに夢や希望につながる取り組みとなってくれればと思います。  
またこの取り組みがもっと広がってくれば糸満市をさらに盛り上げることができるとも思っています。

住宅型有料老人ホーム めえざと  
デザイナーめえざとスタッフの皆さん

寄付型自動販売機の設置にご協力ありがとうございます。  
この取り組みは「1本から始まる 地域のみらいづくり」として自動販売機の売上から地域や高齢者、子どもに対する支援の拡充を目的に実施しています。

設置事業者第1号の「防災やきとり かん」様に引き続き、今回は「株式会社いちまん会」様に2台設置頂くことになりました。  
今後も設置協力事業者を募集していますので興味のある事業者はご連絡ください。

寄付型自販機の設置推進



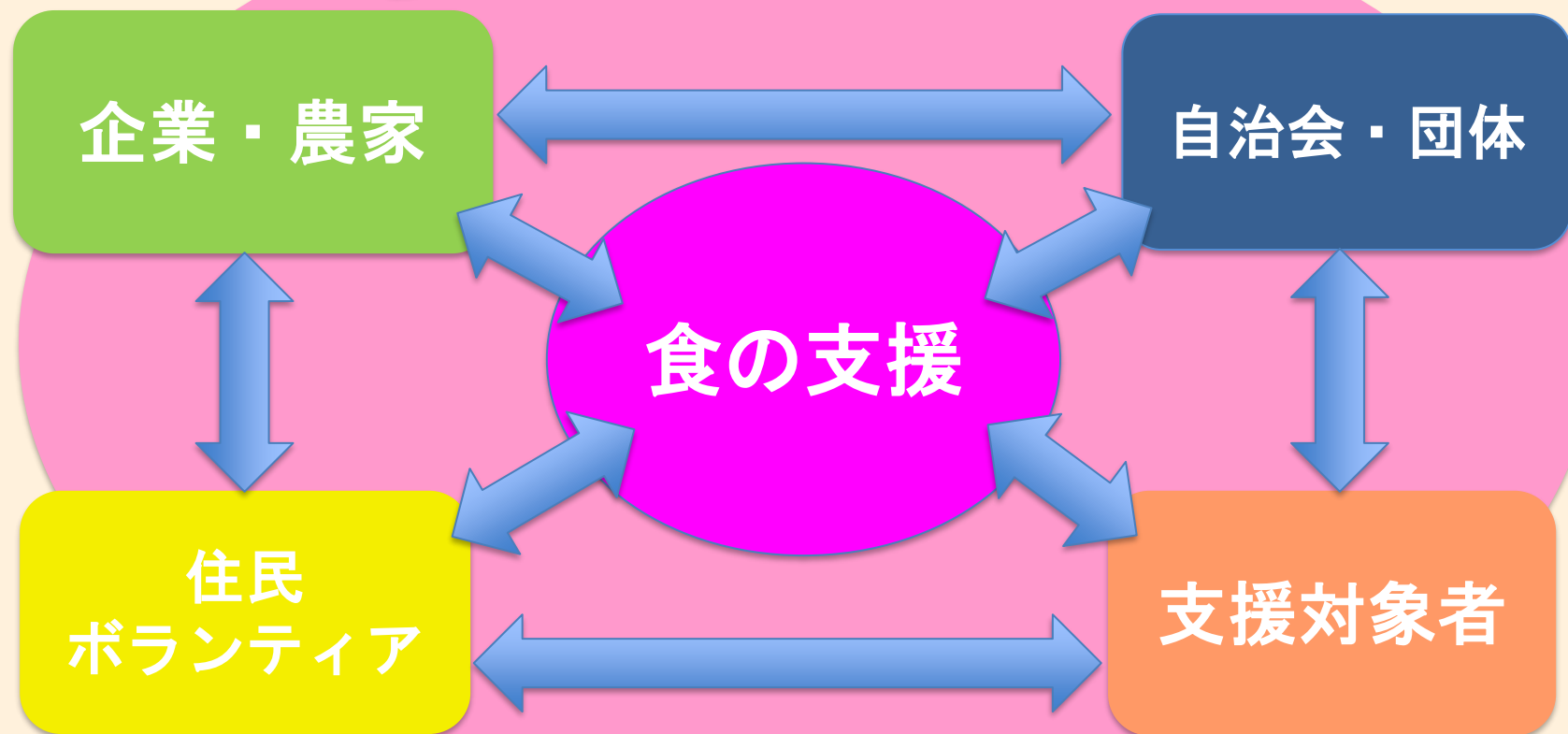
大型冷蔵庫購入

# 取り組みの成果

- 社協のことを知ってもらうきっかけとなった
  - ↳ 相談窓口の周知につながった
- 社会的孤立の予防と生活困窮者支援の拡充
  - ↳ 支援を受ける側から支える側へ移行する事例も出現
- 地域交流の活性化と人と企業のつながり強化
  - ↳ 地域交流が活性化し、孤立感の解消に貢献
  - ↳ 企業・団体との連携が継続的な仕組みとして定着
- 地域で支え合う循環の構築へ

# 地域支援循環モデル

## 思いやりのサイクル



# 今後の展望

- 行政・関係機関との連携を強化し、支援体制の継続
- 誰もが立ち寄れる居場所づくりの推進
- 地域課題解決へ向けたボランティア育成と市民参加の促進
- 若い世代や企業のさらなる参画促進
- 地域ごとの支え合い活動の広がりとコーディネーター機能の充実
- 災害時も含めた「途切れない支援」体制の構築



# ま と め

- 食の支援は地域をつなぐ起点となる
- 協働により支援の循環が生まれる
- 誰も取り残さない持続可能な地域共生社会の実現へ！

ご清聴いただき  
ありがとうございました。

